

1. 本時の位置付け

本時は、小学校学習指導要領(平成 29 年告示)及び同解説【家庭編】に記載されている以下の内容の一部と関連します。

展開 ①	①お金の使い方を 考えよう	<u>第 5 学年及び第 6 学年 家庭科</u> C(1)ア (ア) 買物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解すること。 <解説> ・買う前に本当に必要かどうかよく考えることや、買った後に十分に活用して最後まで使い切ることを理解できるようにする。 ・こづかいなど児童に取扱いが任された金銭に着目して購入の時期や金額を考えたり、購入のための貯蓄をしたりして、無駄のない使い方をすることが必要であることを理解できるようにする。 ・プリペイドカードなどは、金銭と同じ価値があるため、金銭同様に大切に扱う必要があることを理解できるようにする。 ・日常行っている買物が売買契約であることを理解できるようにする。 (イ) 身近な物の選び方、買い方を理解し、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできること。 <解説> ・買う物をメモしておいたり、買物の記録をしたりするなどの大切さに気付くようにする。
展開 ②	②お金の流れを 知ろう	<u>第 5 学年及び第 6 学年 家庭科</u> C(1)ア (ア) 買物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解すること。 <解説> ・家庭で扱う金銭(家庭の収入)は家族が働くことによって得られた限りあるものであり、物や金銭が自分と家族の生活を支えていることから、それらを有効に使うことの重要性を理解できるようにする。

また、金融リテラシー・マップとの関係では、「分類 1 家計管理」、「分類 2 生活設計」、「分類 4 金融分野共通」の学習を含んでいます。

2. 本時の目標

- ・ お金を使うときは「ほしいもの」と「必要なもの」に分けて計画的に使い、おこづかい帳などを用いて買い物を振り返ることの大切さを理解する。
- ・ 日常行っている買い物は売買契約であり、お金は現金だけでなく様々な支払い方法があることを理解する。
- ・ お金は家族が働くことによって得られた限りあるものであり、租税が国や県、市によって行われている対策や事業などの費用として使われていること、物の値段の決め方を理解する。

3. 評価のポイント

- ・ お金を使うときは「ほしいもの」と「必要なもの」に分けて計画的に使い、おこづかい帳などを用いて買い物を振り返ることの大切さを理解している。
- ・ 日常行っている買い物は売買契約であり、お金は現金だけでなく様々な支払い方法があることを理解している。
- ・ お金は家族が働くことによって得られた限りあるものであり、租税が国や県、市によって行われている対策や事業などの費用として使われていること、物の値段の決め方を理解している。

4. 本時の流れ ※「学習活動」及び「指導上の留意点」の＃は、標準講義資料のスライド番号を示している。

	テーマ	学習活動(●は教師の活動、○は児童の活動)	指導上の留意点
導入 5分	○お金の使用状況を把握する	●おこづかいの有無、一人で買い物をしたことがあるかを尋ね、挙手で確認する。 ○教師の問いに、挙手で答える。 ●本時の学習は、お金の使い方・お金の流れについて学習することを説明する。 めあて：お金の使い方やお金の流れについて知ろう。	・児童の実態を把握するための活動である。挙手などで確認してもよいし、事前にアンケートで調査してもよい。
展開① 25分	①お金の使い方を考えよう	(問) 日本のお金は何種類あるでしょう？(＃4) ○知っているお金の種類を発表する。 ●日本のお金の種類について説明する。 ●これまでにどんなものを買ったことがありますか？ 近くの人と交流しましょう。 ○買ったものを想起し、周りの児童と交流する。 ●何のために買いましたか？理由を発表しましょう。 ○買い物をしたときのことを想起し、買った物とその理由を発表する。 ●お金を使うときは、「ほしいもの」と「必要なもの」に分けて考えることや「必要なもの」を先に買うことを説明する。(＃9) ●校外学習に出かけます。おこづかい 1000 円で何を買うか、計画を立ててみましょう。条件が2つあります。勉強のために必要な鉛筆と消しゴムは必ず買しましょう。(＃7) ○ワークシートのおこづかい帳を使用して、1000 円以内の買い物計画を立てる。 ●発表のポイントを説明し、もう一度おこづかい帳を見直すように指示を出す。(＃8) ●みなさんは何を買いますか？買うものを発表しましょう。 ○買おうと思った物とその理由を発表する。 ●買い物計画も大切だが、買った後、買い物を記録していくことも重要であることを説明する。(＃10～11) ●お金には現金以外にも様々な支払い方法があることを説明する。(＃6) ○支払い方法について、ワークシートにまとめる。 ●クイズの説明をして、何番が正解かを問う。(＃12) ○契約が成立するときについて考え、正解だと思う番号に手を挙げる。 ●答えを発表し、契約について説明する。消しゴム1つ、ジュース1本買うことも契約であることを説明する。(＃13) ○契約について、ワークシートにまとめる。	・スライドを見せる前に問いかけ、簡単に意見を聞く。挙手発言ではなく、自由に発言させてもよい。 ・買ったものとその理由を「ほしいもの」「必要なもの」の2つの視点で整理し、板書に位置付ける。 ・校外学習などの学校行事と繋げて考えることで、より実感を伴った活動となる。学校の実態に合わせて活動名を変更するとよい。 ・活動中は机間巡視をして、「なぜ○○を選んだのですか」と問い、購入する理由を明確にできるようにする。 ・家庭科の教科書を見せながら、説明してもよい。 ・電話注文やインターネット注文について触れてもよい。
展開② 10分	②お金の流れを知ろう	(問) 大人はどうやってお金をもらっていますか？(＃15) ○お家の人の様子を想起し、どのようにお金をもらっているか考えて発表する。 ●大人がどのようにお金をもらっているか説明する。 (問) 警察官や消防隊員にあなたはお金を払ったことがありますか？(＃16) ○予想を近くの人と交流する。 ●警察官や消防隊員には、税金からお金が支払われていることや税金は様々なことに使われていることを説明する。(＃17) ○税金について、ワークシートにまとめる。 ●クイズの説明をして、何番が正解かを問う。(＃18)	・児童は保護者からおこづかいとしてお金をもらっていることが多いと予想される。児童自身と保護者の比較することで、保護者がどのようにお金を得ているのかを考えられるようにする。 ・＃16～22は、6年生の社会科の学習内容であるため、家庭科では概要のみの説明でもよい。

お金の使い方やお金の流れ

年 組 番 名前

めあて:

1. お金の使い方を考えよう

(1) 日本のお金は何種類あるでしょう？

① → かみでできたお金

② → きんぞくでできたお金

(2) おこづかい帳をつけよう

お金を使う時は、買いたいものを「 _____ 」と「 _____ 」に分けて考える。

① _____ ② _____ ③ _____ の順で買うとよい。

<1000 円で何を買うか、計画を立ててみよう。>

買うもの	理 由	金 額
合計金額		

自分のお金の記録 = 

- ・ _____ や _____ に、おこづかい帳に記録をする。
- ・ 自分が何にお金を使ったかがすぐにわかる。
- ・ 後から見てみると、「もしかしたらいらなかったかも」「別のものに使えばよかった」という _____ ができる。

(3) お金は現金だけ？ 契約って？

現金	現金以外のお金

形はちがっても、お金の価値は同じ

契約 = _____

_____ 簡単！

_____ 注意！

みんなが商品を選んで「これください」と言い、店員さんが「はい、わかりました」と言ったら、売買契約が成立する。

契約が成立すると、買う人と売る人はおたがいにお金を支払ったり、商品をわたしたりしなければならない。

「 _____ 」のでよく考えることが必要。

2. お金の流れを知ろう

(1) 税金について知ろう

警察官や消防隊員の給料は、みんなから少しずつ集めた _____ から支払われる。

他にも……

3. まとめ

今日の授業で大切だと思ったことや分かったこと、これからの生活で生かしたいことをまとめよう。

--